

安八の昔話

(146)

芝原地区

文 日本児童文学者協会会員

小森 波鐘子

「休知らずの田んぼ」

米だけやない、れんげ、菜種、大麦、小麦、そして大豆等々
田んぼはいつもなにかを育て生産しとった。

菜種からは油がとれ、れんげは牛や馬の餌になり、土の中に残った
根っこは質のいい肥料になった。

小麦を収穫すると早速店屋さんに持っていつとごとんと物々交換、
パンや菓子も同じように換えてもらった
わな。

旨かったなあー。

押し麦にした大麦は米と一緒にたぎ込
んで家族そろって麦飯を食べたんやさ。
大麦をかるく炒って臼でひくとこがし
ができ、大豆はきな粉や手間暇かけると
味噌や醤油に姿をかえた。

田んぼは年中「休知らず」やった。

ちよつとむかし、こんな毎日があつたんや・・・や。



協力者

- | | | | |
|----|-------------|-----|-------------|
| 柵橋 | ひろしさん (83歳) | 古澤 | 峰子さん (87歳) |
| 柵橋 | 妙子さん (73歳) | 坂井田 | なみ子さん (89歳) |
| 柵橋 | 鈴子さん (70歳) | | |

ちよつと寄り道『安八町』

「アンヒルパーク(安八町大野)」



アンヒルパークには長いローラー滑り台
や木製遊具、そして小さい子どもが安心して
遊べる砂場などがあります。

訪れる人たちが温かい気持ちになつて時
間を過ごすことができる憩いの公園です。
ぜひ、皆さんも遊びに来てください。

◆場所 安八町大野343

(安八町総合運動公園野球場西側)

今週末はどこへ行くのかな？

自然の中で遊べるアンヒルパークへ行こう！